

遮光がほうれんそうの生育に及ぼす影響

6~8月播種作型におけるほうれんそうの株充実度は、播種後1週間及び2週間目以降の毎時積算日射量と高い相関を示す。また寡日照条件下で遮光率30%の資材を使用した場合、慣行と同程度の株充実度を得るには、播種後2週間で資材を除去する必要がある。

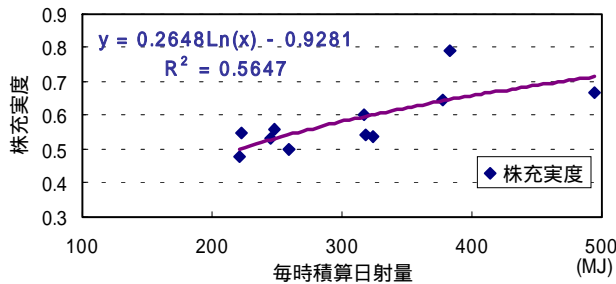


図1 播種1週間目以降の積算日射量と株充実度

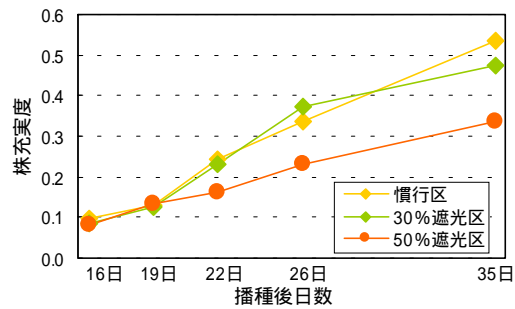


図3 遮光資材による株充実度の違い
(平成15年7月16日播種)

(注)播種1週間後から収穫までの毎時積算日射量323MJ

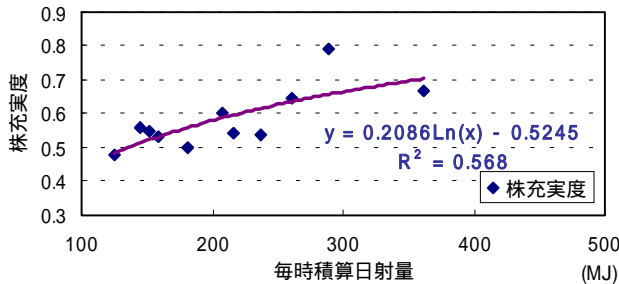


図2 播種2週間目以降の積算日射量と株充実度

(注)平成12~15年度 県北農業研究所
用いたサンプルは草丈24~28cm

供試品種 アクティブ
本試験では土壌水分が生育に与える影響
については考慮していない

表1 遮光条件を変えたときの収穫時の生育

播種日	遮光方法	収穫日 (月日)	草丈 (cm)	調製重		株充実度	毎時積算日射量(MJ)	
				(g)	慣行比 (調製重/草丈)		1週以降	2週以降
H14	6/14 慣行区	7/11	25.9	15.7	100	0.61	317	208
	30%3週間区	7/11	26.7	13.0	83	0.48	-	-
	30%全期間区	7/11	26.5	12.1	77	0.46	-	-
H14	7/23 慣行区	8/20	26.6	12.8	100	0.48	222	125
	30%2週間区	8/20	27.7	12.4	97	0.45	-	-
	30%全期間区	8/20	26.9	10.4	81	0.39	-	-
H15	6/26 慣行区	7/25	32.6	19.5	100	0.60	232	161
	30%2週間区	7/25	32.5	20.5	105	0.63	-	-
	30%3週間区	7/25	31.3	17.0	87	0.54	-	-
	30%全期間区	7/25	30.0	13.3	68	0.44	-	-
H15	8/13 慣行区	9/12	26.6	13.2	100	0.50	260	182
	30%2週間区	9/12	27.2	13.2	100	0.49	-	-
	30%3週間区	9/12	26.1	11.4	86	0.44	-	-
	30%全期間区	9/12	27.7	12.0	91	0.43	-	-

(注1)慣行区:播種から出芽揃いまで遮光率50%の資材で遮光

30%遮光区:遮光率30%の資材を用いて播種後からそれぞれの期間遮光したもの

(注2)調製重:子葉及び第1・2本葉、根部を除去した出荷荷姿での生体重

- 株充実度として[調製重÷草丈]で示した場合、播種1週間目以降及び2週間目以降の毎時積算日射量と相関を示す。
- 寡日照条件下で遮光資材を用いることにより株充実度は低くなり、遮光率の高い資材ほど株充実度は低下する。
- 寡日照条件下で遮光率30%の資材を使用したとき、慣行に近い株充実度になるのは、播種2週間で資材を除去した場合である。
- 寡日照条件下では、遮光により株充実度が低くなり減収する。